

That's 市民力

今、なぜ協働か??考えるきっかけづくりを...

H25.10月号

発行:市民協働推進室
〒850-0022 長崎市馬町 21 番地1(市民活動センター内)
TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925
市民力ネット <http://www.city.nagasaki.lg.jp/shiminkyoudo/>



2013 自分新化講座 ~第1回~

「アベノミクスと日本の将来」

「自分新化講座」は、市民が視野を広く持ち、長崎の活性化に向けて考え、自ら行動するきっかけづくりとすることを目的に、様々な分野においてわが国のトップクラスと言われる方々を講師としてお招きし、開催しているものです。

9月20日(金)は、2013年度の講座プロデューサーで、(公社)日本経済研究センター代表理事・会長の杉田亮毅氏を講師に迎え、今年度第1回目となる講座を開催しました。

講演では、今、日本が直面している様々な問題、そして将来の姿について、集まった約300人の聴衆に向けて熱心に語っていただきました。

消費税については、海外投資家から見た日本の国債、そして国債の価値が下がった場合に予想される経済混乱にふれながら、「信頼される財政の安定策を講じなければならない」と、増税の必要性について話されました。

また、アベノミクス後の日本経済については、仮に2~3%の成長ができたとしても、それはごく短い間であり、最終的には1%前後の成長率になるのではないかという見解を示されました。

日本成長を阻むものとして、「雇用の壁」、「資本・規制の壁」、「エネルギーの壁」という3つの壁があり、これらをどう改革していくかが、今後の日本の成長率を大きく左右すること。

最後に、「今後、アベノミクス後の経済を出来るだけ夢のあるものにしていくためには、連続改革をやっていく必要があります、その改革をできるリーダーを選んでいくことが大切である」と締めくくりました。

※第3回 11/20(水) 小宮山宏氏((株)三菱総合研究所理事長、プラチナ構想ネットワーク会長)「日本『再創造』」



協働

このうらさんぼみち 神浦散歩未知

このコーナーでは、さまざまな協働のパターンの中から、主に市民活動団体と長崎市との協働の事例について紹介します。

外海行政センター

- ・関係機関への協力依頼
- ・PR(広報紙・ホームページ)
- ・イベント準備作業への協力
- ・イベントスタッフとして参加

神浦散歩未知の会

- ・イベントの準備、運営
- ・PR(マップ配布)
- ・自宅や商店の公開(展示・販売)

協働

- 魅力あふれるイベントの開催
- 外海地区が一体となったまちづくり
- 外海地区の魅力発信

「神浦散歩未知」とは、外海・神浦地区にある個人のお宅や商店などを開放し、40を超える箇所をポイントにして、自然豊かな神浦地区を歩きながら、思い思いに楽しんでいただくというイベントです。

各ポイントでは、趣味の工房や生産の場を公開しており、地元の特産品や竹細工、布小物などの展示・販売が行われます。

イベントの中心を担っているのは、地元住

民により結成された「神浦散歩未知の会」です。当日、参加者の皆さんに配布する手作りのマップや看板作りなど、ひとつひとつメンバーで協力しながら、イベントを作り上げています。

このイベントの実施にあたり、外海行政センターは、関係機関への協力依頼のほか、広報紙やホームページへの掲載を行うなどの協力を行っています。また、イベントの検討委員会に参加したり、マップやポスターの仕分け作業・配布のお手伝いを行ったり、イベント当日もスタッフで参加したりと、外海地区の一員として積極的にイベントにも参加しています。

今年は、9/14~9/16の3日間の日程で開催され、訪れた人々が手作りのマップを片手に神浦地区をゆっくりと見て回り、地元の方々とふれあう姿が見られました。

「神浦散歩未知の会」メンバーと外海行政センターが協力してイベントの準備を行い、そして地域住民が一緒になって盛り上げていくことで、イベントの魅力が増すだけでなく、外海地区が一体となったまちづくりの推進や外海地区の魅力発信へとつながっています。



H25.
10月号

That's 市民力

協働 ランタナ “ワクワク”大会議

市民力 ちゃんぼんミーティング 長崎発！手作りの良さを広げよう



9月23日(月・祝)、長崎市立図書館多目的ホールで「ランタナ“ワクワク”大会議」を開催しました。

今回のテーマは、「みんなで創ろう 市民力UPの新事業」。

当日は、市民活動団体の皆さんが6班に分かれて、グループワークを行いました。

各団体の強みや弱みを改めて考えることで、近い将来(3年後)に目標とする姿を想像し、そのために必要な制度やツールなどを話し合いました。

縁の下の力持ちとして、この会議を支えたのは、長崎伝習所「ファシリテーター養成講座」を受講した1期生の皆さんでした。テーマの設定、会議の進行手順、役割分担などを、事前に何度も打ち合わせを行い、当日は参加者の皆さんの意見を引き出し、事業企画書をまとめ上げるところまでリードしてくれました。

各グループからは、団体のつながりを広げるための“ピクニックへ行こう！事業”や“フェスティバル開催”、活動資金調達のための“基金設立”や“資金力UPセミナー開催”など、たくさんの事業案が出されました。そして、全員の投票により、1位に選ばれた事業案は、団体の情報の共有化を図るための“イベントカレンダー事業”でした。

今後は、参加者の皆さんに出していただいたアイデアを少しずつ形にしていきたいと思えます。

9月24日(火)、第4回ちゃんぼんミーティングを開催しました。

今回は、洋服や雑貨、楽器などを手作りしている方、手作りのものを広める活動をしている方など15名の参加がありました。

自己紹介では、布ナプキンや消しゴムスタンプ、地元食材を使ったお菓子など、それぞれが普段手作りしているものを披露し、手作りの良さについて語り合いました。

“長崎らしさって何だろう？”という話題では、手作りの作品そのものだけでなく、それを生み出す人たち、広める人たちの人柄や空気感など、「ひと」「もの」から醸し出される雰囲気長崎らしさを感じるのではないかという意見が出されました。

また、“手しごと市”の話題では、どうすれば多くの人に参加してもらい、定着させることができるか・・・など、それぞれが出来ることを出し合うことで、具体的な話が進み、実現の可能性が見えてきました。

“足りないものを買うのではなく作る”ことから始まる「手作りの良さ」を長崎から広げていけるといいですね。

- 今後の予定
- ・10月24日『『もったいない』から始まるエコ活動』(募集締切)
 - ・11月21日『わたしたちにできる『お・も・て・な・し』』(11/12締切)



ちゃんぼんミーティング プラスα

9月16日(日)、特別養護老人ホームオレンジの丘での敬老会において、「もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会」によるレクリエーション、「長崎調理龍友つくし会」による特製弁当の提供が行われました。



この2団体は、これまでも毎年敬老の日老人ホームを訪れていましたが、今年2月に行われた“特製ちゃんぼんミーティング”での出会いがきっかけで、「一緒にすると、もっと楽しく、もっと喜んでいただけるものができるのではないか」という話になり、今回実現したものです。

団体同士がコラボすることで、より内容が濃いものができるようになり、多くの方々に喜んでもらうと同時に、団体メンバーも充実した時間を過ごすことができました。

もってこい 市民力

■ ケーブルテレビ放映情報 ■

11月は、「ながさきエコネットの取り組み」を紹介します。

長崎ケーブルメディア
デジタル 111chで
好評放送中！

★毎月第2・第4金曜日
★午後5時(初回)・7時・9時・11時
YouTubeでもご覧いただけます！

<http://www.youtube.com/user/shiminryoku>

